

広報・教育部門

応募事例名

取組開始から25周年を迎えた「油・断・快適！下水道」キャンペーン

応募団体名)東京都下水道局

応募事例の概要

○台所から流れた油は下水道管内で冷えて固まり、管の詰まりや悪臭の原因になる。気温が下がり始め油が固まりやすくなる毎年10月、お皿や鍋を洗う前に油汚れをふき取るなどの行動を都民や事業者へお願いするキャンペーンを実施。昨年度は25周年を迎え、より多くの手法を活用し情報発信を強化。

応募事例の内容

- 「油・断・快適！下水道」キャンペーンの取組開始から25周年を迎えた昨年度は、新たなスローガンとして「油を流さない。暮らしのいい習慣。」を掲げ、局公式ホームページ、PR動画、ポスター、チラシをリニューアルして情報発信
- 「アーバンドック ららぽーと豊洲」でのキャンペーンキックオフイベントのほか、YouTubeでの広告、住民に身近なスーパーマーケット等でのデジタルサイネージへの掲示を新たに行うなど様々な手法を組み合わせ戦略的に情報を発信



PRポイント

- キックオフイベントでは、ミス日本「水の天使」や子育てインフルエンサーによる下水道に油を流さない3つのアクションの実演等を実施し、当日は約500名のお客さまが来場。イベントは、4つの媒体で取り上げられた。
- 3つのアクションの実演等を下水道局公式Xで発信(24ポスト、平均1.2万view)したほか、SNSでの広告や検索サイトのバナーを経由した動画再生数は約117万回、局公式HPのPV数約14.4万を獲得した。

取組に関するエピソード

○本キャンペーンは平成13年度に取組を開始し、これまで地域のお客さまへの普及啓発を図ってきました。

○取組開始から25周年を迎えた令和7年度は、一人でも多くのお客様に下水道に油を流さない行動について知り、行動変容につなげていただくため、ミス日本「水の天使」やインフルエンサーのイベント出演のほか、サイネージやSNSでの広告掲出など、デジタルを活用した情報発信に力を注ぎました。



下水道局 総務部
広報サービス課長
大橋 永樹